

平成21年4月20日

報道関係各位

国立大学法人東京大学
産学連携本部

「ジェロントロジー（老年学）コンソーシアム事業の開始」

東京大学（総長：濱田純一）は、平成21年度から2年の計画で、「ジェロントロジー（老年学）コンソーシアム」をスタートさせ、4月22日（水）に初回の会合が実施されます。

本コンソーシアム事業は、本学産学連携本部（本部長：影山和郎）が、4月から発足した高齢社会総合研究機構（機構長：鎌田実）の協力の下で、企業約30社と共同で実施する事業で、20年後に高齢化率が約3割を超え、さらに75歳以上の後期高齢者が約2000万人となる超高齢社会において、その社会像を共有化し、目指すべき姿を提示し、それに向かうロードマップを構築することを目標としています。

本コンソーシアム設立の経緯は、総長の諮問機関である東京大学産学連携協議会アドバイザーボードミーティングにおいて、小宮山前総長の主張する「日本は課題先進国から課題解決先進国へ」というメッセージの項目の一つとして、高齢化の進展があり、それを重要テーマとして産学連携で取り組むべきであるとの意見が出され、設立に至ったものです。本学では、前記高齢社会総合研究機構の前身であるジェロントロジー寄付研究部門が3年前より活動を続けてきており、学内約50名の教員が高齢化問題に取り組んでいます。

本コンソーシアムには、電機、自動車、食品、情報通信、鉄道、化粧品、流通、住宅、不動産、商社、マスコミ、金融、環境、調査など約30社（含む海外企業4社）が参加を表明し、その業種は極めて多種に渡っているのが大きな特徴です。1年目は、20年後の社会像を、生活者目線からと国レベルでの実現可能性という視点からの複眼的な立場でイメージ化していくことを目標とし、2年目は、複数のグループにわかれ、それぞれ議論を深めてロードマップを構築していきます。月1回程度の定例会と年2回の合宿や見学会などを実施していくことを予定しております。最終的には成果を社会へ発信し、政策提言なども行っていきたいと考えております。

本件に関するお問い合わせ先：

東京大学産学連携本部
教授 太田 与洋
Tel:03-5841-1484

資料（別紙）：

コンソーシアム参加を呼びかける小宮山前総長のメッセージ
コンソーシアム参加者募集メッセージ

平成21年1月20日

各 位

国立大学法人東京大学
総長 小宮山宏

東京大学産学コンソーシアム「ジェロントロジー」のご案内

—安心で活力ある長寿社会実現を目指して—

日本は、20世紀後半に平均寿命の30年延長という驚異的な寿命革命を達成して世界最長寿国となりました。さらに、この先20年で75歳以上の人口が倍増(1000万人増)するという、世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎えます。ところが現在の社会制度や生活環境は、人口が若い世代の多いピラミッド型の時代につくられたままであり、これから日本が直面する超高齢社会のニーズには対応できていません。人口高齢化の影響は医療・福祉領域にとどまらず、経済・産業・文化の広い領域で相互に関連する複雑な課題を提起しています。例えば、労働に従事しない依存人口比率の上昇や認知症・虚弱高齢者の介護など深刻な問題が顕在化している一方、高齢者を社会資源と捉え新たな雇用や産業の誕生に対する期待も高まっています。日本はまさに高齢社会の課題先進国です。東京大学は全学をあげて課題解決に取り組めます。

安心で活力ある長寿社会の実現に向け、まずは広範な視野から超高齢社会の正確で俯瞰的な理解をすすめ、課題やニーズの割りだしを行うことが必要です。さまざまな領域が連携して研究し、そこで得られる成果を具体的な製品やサービスの形で社会に提供し、社会が直面している課題を解決するために役立てることを目指します。これらの実現のためには、「科学」と「技術」、そして産業界のさまざまな領域の、不断の連携が不可欠です。

東京大学産学コンソーシアム「ジェロントロジー」は、具体的な産学官連携活動を企画しイノベーションの創出を目指し設立されます。本コンソーシアムでは、広範な「科学」と「技術」、そして「産業」がそれぞれの視野から、超高齢社会の課題やニーズを割り出し、解決していくことをめざします。新たなニーズは新たな産業を創出します。誰もが安心して暮らせる社会、活力ある社会を実現するため、大学と産業界が連携して取り組む第一歩を踏み出しませんか。賛同される産業界の方が本コンソーシアムに参加されることをお誘いします。

東京大学産学コンソーシアム「ジェロントロジー」参加者募集

—安心で活力ある長寿社会実現を目指して—

平成20年12月18日

趣旨

20世紀後半に平均寿命の30年延長という驚異的な寿命革命を達成して世界最長寿国となった日本は、今後20年で75歳以上の「後期高齢者」の倍増(1000万人増)という高齢者人口の急速な高齢化に世界に先駆けて直面します。人口が若い世代の多いピラミッド型の時代につくられた現在の社会システムや生活環境はそうした超高齢社会のニーズには対応できません。新たなニーズは新たな産業を創出します。長寿社会の生活とニーズの正確で複眼的な理解に基づいて課題を割り出し、安心で活力ある長寿社会の実現に向けた学際科学の確立と具体的な産学官連携活動を企画しイノベーションの創出を目指すコンソーシアムを東京大学は設立します。賛同される法人の方が本コンソーシアムに参加されることをお誘いします。

東京大学 ・小宮山 宏(総長)

・秋山 弘子(総括プロジェクト機構 ジェロントロジー寄付研究部門 教授)

・鎌田 実(工学系研究科 産業機械工学専攻 教授)

・藤田 隆史(産学連携本部長)

◎計画 (2009年4月1日～2011年3月31日)

1年目. 全員参加のワークショップでジェロントロジーの広い分野を概観。

2年目. 参加者をいくつかの領域(ワーキンググループ、WG)に分け、領域別に先端知識、技術、ニーズの探求。(想定されるWG:住宅と街、健康と栄養、高齢者の安心・安全、移動、看護・介護、医療保険、その他産業界のご提案受けます)

3年目. 共同研究創出

◎メンバーの特典

- (1) 定期的なワークショップと年会(シンポジウム)、WGに参加できる。法人所属のメンバーは最大5名参加できる。
- (2) 産学連携に係わる諸提案ができる。
- (3) ジェロントロジー・ライブラリー(オンライン)を利用できる。

◎法人メンバー参加料

100万円/年

◎募集企業:30社

○期間 2年間: 2009年4月1日～2011年3月31日 (延長あり)

○申し込み期限: 締め切り 2009年2月28日(これ以降も定数までお受けいたします)

○申込先

東京大学産学コンソーシアム「ジェロントロジー」事務局 担当: 鈴木
(東京大学産学連携本部産学連携研究推進部)

e-mail: conso-geron@ducr.u-tokyo.ac.jp

東京大学産学コンソーシアム「ジェロントロジー」参加申込書

東京大学産学コンソーシアム「ジェロントロジー」事務局 御中

東京大学産学コンソーシアム「ジェロントロジー」規約第3条(目的)に賛同し、同規約の内容を確認・承諾の上、コンソーシアムへの参加を申込みます。

申込日 年 月 日

申込責任者名

法人名	
所属・役職名	
氏名	
住所	〒
電話番号	

印

連絡窓口(ご担当者)

所属・役職名	
氏名	
住所	〒
電話番号	
FAX 番号	
E-Mail アドレス	

参加料

下記のいずれかに○印をお付け下さい。

- () 法人所属のメンバー 100万円/年
() 教員メンバー 無料
() 特別個人メンバー 100万円/年(例外あり)

※参加料の御請求・領収書等、振込方法については後日連絡を致します。

参加申込書は下記宛に郵送いただきますようお願い申し上げます。

申込書送付先・お問い合わせ・「ジェロントロジー」規約請求先

東京大学産学コンソーシアム「ジェロントロジー」事務局 担当:鈴木
〒 113-0033 文京区本郷7-3-1 産学連携本部 産学連携研究推進部
Email: conso-geron@ducr.u-tokyo.ac.jp